

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2020年7月10日発行 第94号 1部100円 http://chiba.gekijou.org/



前例のない新型コロナウイルス感染の大流行下で

危ぶまれる子どもたちへの影響

模索の中で問われるものは…

◆芸術文化の危機◆

全国で500回という学校公演他がすべて中止となり、関係団体が打撃を受けました。芸術家支援の補正予算が年間予算額の半分に当たる560億円が組まれ、実態に即した運用が求められています。アブターゴの公演は、しばらくは困難な状態です。アフターコロナの活動環境への支援も求められています。ヨーロッパでは芸術が生活の一部、生きる糧として、早くから財政的支援がはじめられました。文化は不急不急のものではありません。日常の生活を彩り、豊かにする社会的基盤です。今こそ文化をどう位置づけるのか、日本社会でしっかりと考える時です。

◆危惧される子どもの成長発達◆

子どもたちが群れて自由に遊び、表現することは日常であり、その中で様々な力が育まれ、成長発達しています。また文化や本物に触れて多様な価値観が育つ大事な時期です。3か月間の自宅仲間と関わりあわない生活が、子どもたちの成長発達に、重大な影響を及ぼしてはいないでしょうか。特に乳幼児の数か月の成長は著しく、孤立した子育て環境で豊かな感受性が育つでしょうか。

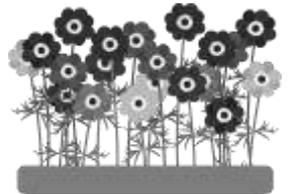
◆子どもたちに「楽しい時間」と「あそびの時間」の保障を◆

心を開きほつとできる時間、子どもの権利条約第31条で保障されている遊びや余暇、文化的な生活に参加する権利です。遊びは生きることの根本、自分で自由に考えて自分の感覚で決めることができるのです。健康的なバランスをとるために必要です。

◆寛容な社会と人と人とのつながりを◆

寛容さを失った社会、何をやってはいけないのか、何をすべきかわからない不安や考え方の違いが、子ども社会を分断することにならないようにしたいものです。どうやってコロナ禍をのりこえることができるか、子どもを真ん中にして工夫して、人と人とのつながりをつくっていききたいものです。

(文責…宇野)



アシテジ(国際児童青少年舞台芸術協会)世界大会・未来フェス実行委員会へ応援メッセージ<2021年3月に延期>

相手を思いやる、相手の痛みを知る。この感覚は友達と触れ合い遊びながら学んで行く感覚でしょう。虚構の演劇に触れることで、子供たちは何度も失敗しながらその感情を掴み、想像の翼を広げていくことができます。生でリアルなのに失敗を何度も体験し、何度も再生できるのだ。そしてその体験を現実に応用し、生きる知恵へと繋げていく。演劇などの芸術文化の力は凄いです。私はいじめられっ子だった子供のころ、そんな文化によって生きる力を得ることができました。悩み多き現代の子供たちみんなにそんな文化に触れてほしい。そして、悩んでいるのは自分だけじゃないことを知ってほしい。子供たちの笑顔を支えたいです。

渡辺えり(女優・演出家)

2020年度(第23年度) 通常総会終了

日にち：2020年6月16日(火)
時間：13時30分～14時25分
場所：子ども劇場千葉県センター事務所
出席者：正会員45名中45名出席(うち委任・書面表決38名)
すべての議案が全会一致で承認されました。
■2年間の事業の重点課題として、全ての事業に、子どもの権利条約の理念と子ども観を入れ込んでいくことが確認されています。

2020年度の事業計画

●文化芸術を活用し、子ども自身の自己肯定感・非認知能力を獲得する活動

①文化庁受託令和2年度文化芸術による子供育成総合事業
*県内97校(予定)で実施する芸術家派遣事業

②子どもゆめ基金助成事業
*「病院、児童相談所、児童養護施設の子どものQOL向上あそびワークショップ体験」

③赤い羽根共同募金助成

*乳・幼児とその親、子どもが出会うはじめてのおしばい

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

「乳幼児と養育者の笑顔Withアート」事業

①社会福祉振興助成事業(WAM)
*「0歳から2歳児の親が子どもへの発達に寄り添い笑顔になる支援」事業

②パチンコパチスロ社会貢献活動助成事業

*「0歳～3歳児とその親との愛着を深めるアート・ふれあい・交流事業」

●子どもや養育者に寄り添い「傾聴」による当事者を支える活動

①チャイルドライン千葉 ②ママババラインちば

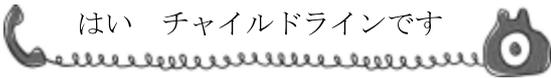
●ネットワーキング事業

子ども系NPO、行政、個人、こども人権ネットちばとの連携

「アシテジ世界大会」と「国際子ども舞台芸術・未来フェスティバル」を東京で開催します。世界中から選ばれた舞台作品が上演されます。

◆◆◆◆ コロナ禍の中 ◆◆◆◆ チャイルドラインとママパパラインに届いた声

聴いてほしい!

はい チャイルドラインです 



新型コロナウイルスの感染拡大が、子どもたちの「当たり前の日常」を一変させました。「新たな日常」も始まり、戸惑いや不安な気持ちを話す子どもたちの声が、チャイルドラインに届きました。チャイルドラインは、子どもたちが気持ちをため込まないで吐き出して、新たな日常に「たのしい時間」が増えていくよう、ホッと安心できる心の居場所でありたいと思います。

(声はプライバシーに配慮して再構築し編集しています)

コロナのことが不安

- * コロナのことが不安で何もできない。
- * コロナのせいで、気持ちが暗くなって、ネガティブなことばかり考えてしまう自分をなんとかしたい。
- * 朝起きてから寝るまで、コロナのことばかりでいやになる。
- * 志村けんが亡くなって人の死が身近になった。
- * 地域に感染者がでた。
- * 不安な気持ち、周りにイライラしたりする。コロナでもっと心配になる。
- * 塾に通っているけど、感染しないか心配。

自分自身へのこと

- * 部活で大会を目指して頑張ってきたのに、なくなってしまってすごく落ち込んでる。
- * 生活のリズムが崩れてきた。ゲームばかりしちゃう。
- * 時間がたくさんあるけど何をやっていいのかわからない。
- * 予定がいろいろ変わってしんどい。つかれた。世の中とげとげしい。学校も家もイヤ…死にたい。

【チャイルドライン】

☎ 全国統一フリーダイヤル (0120-99-7777)

まいにち開設 16:00~21:00

💬 オンラインチャット

毎週木・金曜 第3土曜 16:00~21:00



18歳までならだれでもOK
うれしいこともかないことも、なんでもはなしていんだよ!

チャイルドライン千葉

0120-99-7777

☎ 通話無料(携帯・スマホもOK) オンライン相談は
まいにち ごご4時~ごご9時 ごちから →

主催: NPO法人 子ども劇場千葉県センター
後援: 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
このカードは赤い羽根共同募金の助成によりつくられています。

 2020年度千葉県赤い羽根共同募金の助成を受け、アドカードとポスターを作成し配布をします。

学校が休みになって

- * 学校の友だちに会えずさみしい
- * 休校中でいろいろ考えてしまつて憂鬱。
- * 進級してついていけるか不安。一人で家にいるのも不安
- * 臨時休校で考えることが多くなり、将来のことが不安になる
- * 不登校気味。コロナで休校は安心して暮らしているが、新学期が怖い。
- * いじめられているので、コロナで学校が休みになって嬉しいところもあるけど、勉強も手につかない。楽に過ごせるかなと思ったけど楽しくない。
- * クラス替えが怖い。親友ができない。誰にも話ができない。コロナで人が死んでいく中、何で自分は生きているんだろうと思う。
- * 学校の課題と塾の課題が多くてとても大変。

家庭の中では

- * 家にいる時間が多くなって、お母さんがよく怒るようになった。
- * 学校が休みで宿題がいっぱい出た。お母さんにもっとやると言われる。やってるのに。休憩したい。
- * 親とケンカした。家にいるなと言われたけど行くところがない。このままだと爆発しそう。
- * 親がイライラして意味不明なことを言うてる。自分はリスカしている。話をきいてほしい。
- * 父親の暴言や罵倒が酷くて耐えられない。
- * コロナでお父さんの仕事がなくなり、学費のことで両親が困っている。

発見もあった

- * 暇だったから見えていなかったものが見えた。お母さんの家事の大変さとか。
- * お母さんは看護師で毎日働いている。おばあちゃんの家で、マスクを作っている。人のために何かできるからちょっとうれしい。
- * コロナでみんな我慢しているのに自分だけ何もせず、いいのかな?

誰かと話したい！

はい ママパパラインです



全国のママパパラインには、コロナ禍で生活スタイルが一変し、コロナの怖さと共に、夫や子どもが家にいることで、予測も想像もしていなかった事態に戸惑っている「声」が届いています。「誰かと話したい！ この気持ちを聴いてほしい！」つながってホッとし、安心感が持てたようです。(声はプライバシーに配慮し再構築しています。)

心配なことがいっぱい

- * 近くの病院にコロナ患者が転送され、娘に何かあったら心配。実家に行くのもキャンセル。
- * この異常事態がいつまで続くのか、気持ちをどうやって発散すればいいのか。
- * コロナはよくわからない病気で怖い。ため息が何度も出る
- * 子どもの足音が下に響いているのではと心配。
- * 好きな動画やユーチューブを見て1日中、タブレット漬け。
- * 夫は ADHD 傾向があり、子どもに勉強をさせる言い方がきつい。夫はテレワークで家にいる。
- * 保育園もお弁当、給料も減った。保育にも不満、すべてが大変。

怖くて外に出せません

- * 外で遊ぶとマスクをとって遊ぶかもしれない。怖くて外に出せません。
- * お陽様に当たるために、ベランダで食事をしている。

不安とストレスがたまっています

- * 夫がテレワーク、子どもは休校で家にいる。夫の職場は風呂場。食事の世話等ストレスがたまる。
- * 子ども 2 人の体が大きくパワーもあるので家が壊される。ストレスがたまる。
- * 兄弟から子どもを預かってほしいと言われ、気を遣いすぎて負担感を感じぶる一な気持ちになっている。
- * 夫のテレワークの際に子どもを静かにさせるのに一苦勞し疲れる。
- * 2 か月家にいて子どもがうつ状態。夜寝られず朝起きられなくなった。

イライラしています

- * 子どもが赤ちゃん返り。上の子はいいい子。下の子は言うことをきかない。イライラする。
- * 夫は在宅で仕事。子どもの勉強もみてくれるが、夜中子どもとケンカになり通報された。
- * 私と子どもとケンカになった。夫は体罰でいうことをきかせると言う。夫は、日頃コミュニケーション力が高いと自分で言っている。
- * 孤独で子育て中、イライラする。今はコロナの影響で家にいる。一人だからいろいろ考えてしまう。

あなたをひとりにしない・させない！「ママパパライン」

ママパパラインちば



子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしください。電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを！

043-204-9390

毎週金曜日 10:00~16:00

キャンペーン:2021年2月15日(月)~2月20日(土)

6日間毎日 10:00~16:00



「ママパパラインちば」 アドカード

「ママパパラインちば」は、2020 年度千葉県赤い羽根共同募金の助成を受けてアドカードを作成し、県内の当事者に届くよう配布して参ります。

あなたをひとりにしない・させない！ ママパパライン

ママパパラインちば

043-204-9390 毎週金曜日 10:00~16:00

全国キャンペーン
2021年2月15日(月)~20日(土)
10:00~16:00 8日毎毎日開催

子育て中のママ・パパの悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしください。電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを！

キャンペーン期間:2021年2月15日(月)~20日(土) 10:00~16:00

電話予約:043-204-9390

お問い合わせ:043-204-9390

主催:特定非営利活動法人「子ども家庭支援センター」

「ママパパラインちば」ポスター

他全国7か所のママパパライン情報

番号	ママパパライン	電話番号	開催時間
1	ママパパライン ほっかいどう	080-6062-4735	毎週月 13時~16時
2	ママパパライン 仙台	022-773-9140	毎週金 10時~16時
3	ママパパライン ふくしま	0242-85-7878	毎月1・3木 10時~16時
4	ママパパライン 東京川の手	03-3633-0415	毎月第3金 13時~16時
5	ママパパライン あいち	052-203-8655	毎週水 10時~16時
6	ママパパライン わかやま	073-432-3690	毎週火 13時~16時
7	ママパパライン ひょうご	078-945-8333	毎週水 10時~14時

子ども劇場千葉県センターは、2020年度事業で、0歳からの子どもたちとその親、病院、児童養護施設、学校等へ、芸術的なアプローチの5事業を計画しています。コロナ禍で親や社会の不安を敏感に察知し、ストレスを発散する日常がない日々を過ごしている子どもたち。あそびと芸術体験は、気持ちを解放し、自由に表現する心地良き、好奇心や自己肯定感を持つことにつながります。芸術に触れエンパワーメントし、いきいきとした生活を築いてほしいと願います。芸術に



3歳までの育ちはとても大事で、特に1歳半までに幸せな家庭の中で子どもが育つことが大事です。家庭の中に幸せがあると思います。このワーク後、家に帰って親子で一緒に楽しく遊べるよう、簡単な人形工作や人形作り、人形遊びを提供します。
(人形劇団のはな 納富俊郎)

生活の中にあるものをイメージしたり、生活の中のあんなこと、こんなことを「なりきり〇〇ダンス」にしていきたいと思います。0歳では音も大事なモチーフになります。「風」とか「こんにちは」のあいさつも、ダンスのモチーフにできます。0歳からの親子のダンスにワクワクしています。
(ダンスパフォーマー 安西真幸)

笑顔になってアートであそぼ！

0歳・1歳・2歳・3歳児とその親

2018年より県内市町村行政に提案している「乳幼児と養育者の笑顔 with あーと」事業。人生の土台となる愛着形成、非認知能力は、0.1.2歳の非言語の時期にこそ培われます。生まれながらに赤ちゃんが持つ、人とつながる力・豊かな感性、そして子と共に生きる喜びを、一瞬にして親（養育者）が実感できるのがアートの力です。親の安心した笑顔が赤ちゃんの伸びやかな育ちと笑顔を生み、さらに親や周りの人を幸せな笑顔にする。孤育てから一歩踏み出す力を届けたいと行政と連携して進めるプロジェクトです。専門家、パフォーマーからの協力と応援を得て、アートによる子育て支援の研究、工夫（助言・検証）評価をしていきます。

令和2年度WAM社会福祉振興助成事業

「0歳～2歳の親が子どもの発達に寄り添い笑顔になる支援」事業

0～2歳児と親が、子どもの発達に添ったコミュニケーションやあそびの芸術的スキルを体験し、わが子と笑顔で毎日を過ごす一助とする。10市町村と連携予定。

2020年度パチンコ・パチスロ社会貢献活動助成事業

「0歳～3歳児とその親との愛着を深めるアート・ふれあい・交流事業」

0～3歳の親子の愛着形成につながるアート体験やあそび、交流等を、行政や子育て支援拠点との連携で実施。県内10カ所予定。

乳児期にこそ愛着の形成と信頼関係の基礎の構築を

～専門家やパフォーマーから、この事業への期待や思いをコメント～



（植草学園短期大学 児童障害福祉専攻 准教授 久留島太郎）

アートによって子どもや親が笑顔になる、笑顔になるって大切なことです。最近では父親も子育てに参加している、この事業に父親も参加できるといいですね。乳児期になぜふれあいやアートが必要なのか、ママ・パパたちに伝えていきたいです。保育指針に非認知能力が盛り込まれましたが、現場にはまだその重要性が届いていません。YouTube等動画を活用してこの事業の良さを理解してもらう工夫も必要です。

（仙台白百女子大学特任教授 児童学博士 佐野裕子）

0歳～3歳は脳を育てる時期です。幸福度の源になる非認知能力の基礎が3歳までに形成され、親子でのふれあいによって愛着が形成されます。お母さんの優しい笑顔が子どもの脳（大脳辺縁系）を委縮させない、安心脳を育てていくのです。これからのコロナ禍・IT時代を生きていくにはIQ重視の教育では生きていきません。子どもの変化や力を発見しながらアートに触れてほしいです。

乳児院へ はじめてのおしばい を届けます



「乳児は観てもまだわからないから・・・無理」と、乳幼児施設の方から聞くことがあります。確かに理解力はまだですが、0歳児の赤ちゃんはすでに心地よい音楽やリズムを感じる力があることが明らかになっています。赤ちゃんの持っている力を知ってもらい、その固定化した扉を開くために「はじめてのおしばい」として、2006年度から、乳児の感性に響くプロによる作品を届けています。今年度は、千葉県赤い羽根共同募金助成の支援により、アートとの出会いの機会が少ない乳児院に届けます。

2020年度実施先予定

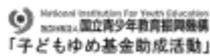
- ① 聖愛乳児院
- ② 望みの門方舟乳児院 8月4日 わらべうた
- ③ イーハトーブ乳児院 9月予定 わらべうた



アートは0歳にも必要です。赤ちゃんが主体であり、赤ちゃんは自分の力で感じ取る力があります。親自身も産み育てる時期は、人生を切り開いていく力もついています。親たちがどんな人となら価値観に出会うか、人生にすぐく影響します。本物を届けたい。
(わらべ歌等パフォーマー 大沢愛)

ママに一人じゃないよと伝えたい。ママが元気で遊んで、家に帰ってから遊びのヒントになればいい。子どもがうまく参加できなくても大丈夫。無理強いはしない。安心して楽しんでもらいたいです。家にある身近な材料でいろいろアレンジして遊びます。
(劇団風の子 大森靖枝)

子どもたちの日常生活が豊かになるよう、ワークショップでの遊びや舞台芸術のプロのパフォーマーによる楽しい時間を作り、笑顔を届けます。そして寄り添う家族、病院・施設関係者の皆さんが子どもたちの笑顔と共にほっとするひと時をつくりたい。子どものQOLを向上させるアートで応援します。20か所での実施を予定しています。



※7月1日時点での情報

実施施設	プログラム・指導者・実施日
千葉県こども病院	「あそびのワーク」 千葉地域のあそび指導者 8月25日(火)
君津児童相談所	「ダンスワークショップ」 安西真幸・安西千紗他 7月30日(木)
千葉市児童相談所	「ダンスワークショップ」 安西真幸・安西千紗他 8月20日(木)
市川児童相談所	「誰も見たこともない生き物をつくろう！」 永野むつみ・大沢直他 8月予定
中央児童相談所2施設	プログラム未定 9月か10月
銚子児童相談所	「ののはな劇場」 納富俊郎・祥子他 10月29日(木)
一宮学園	「アフリカンリズム&パーカッションワーク」 BB モフラン・ダウディ・典子他 8月17日(月)



県内 97 校 (申し込み) で芸術体験授業 文化庁受託事業 令和 2 年度文化芸術による子供育成総合事業



3ヶ月に及んだ休校がようやく明け、新しい生活様式に戸惑いながらも子どもたちが学校に戻ってきました。子どもたちのストレスや不安な気持ちを少しでも和らげ、心を開く、芸術体験との出会いが今こそ必要です。今年度は97校(予定)の学校の授業に芸術家によるワークを届けます。(※6月25日、千葉県教育委員会及び千葉市教育委員会を通じて公募の結果、県内97校から実施申し込みがありました。)

■子ども劇場千葉県センターの「願い」■

学校でも子どものストレス回復と安心を！

子どもたちは元気そうにふるまっていますが、この3か月で、かなりのストレスをため込んでいると想像されます。大人には、子どもの内面が見えないことが多々あります。授業日数を取り戻すために、超スピードと超詰め込みの学校生活へ突入の感があり、新年度最初の一步からつまずく子どもたちが出てくるのでは？と心配です。まずは子どもたちの声を聴きながら、学校を安心な場にしていけることを優先していくのが、今、大人が心すべき最善の対応です。

あそびやアートに触れる時間を削らないで！

芸術家派遣事業は、5年間の実績から、子どもたちの心が解放され、個性が引き出され、前向きに生る力をもたらしてくれました。コロナ禍での不自由な時間は、私たちの日常生活にバーチャルではなく「ナマの文化芸術に触れること・仲間とあそぶこと」の大事さを実感した時間でもありました。不自由の中で得た気づきと希望です。

【これまでの実績と成果】
 2015年度から継続して5年間実施。のべ332校 参加人数15,183人。国語、音楽、体育、社会、図工等の教科、総合的、部活動の位置づけで授業として行いました。5年間の実績から、学校教育での芸術活動の必要性、有効性が一層明確になっています。プロの芸術家の指導が魅力的でプログラム構成やアプローチの仕方が素晴らしいこと等、学校や教師から「授業」として高い評価を得ました。

【実施校の先生から「授業」としての評価】
 ＊本物と出会うことで興味関心が深まった。
 ＊学校で実施することでみんなと一緒に体験でき、楽しめた。
 ＊正解のない活動のため、どの子の表現も認められて満足、意欲的に表現するようになっていた。
 ＊まさに新しい時代に必要となる資質、能力の育成となるべき具体的な実践だった。

【参加した子どもたちの感想】
 ＊「わっ、おもしろい！」笑いがとまらなくて、涙がとまらなくなりました。
 ＊思いっきりやれば楽しいということが学べた。
 ＊はく力があって、体の中がすくくふるえた。今までなかったこと。

コロナ禍で文化芸術が止まった日々 そしてこれから

子どもたちのこと、芸術家の実態・生活

4月からの「緊急事態宣言」下で起きた 学校へ行けないこと、友だちとも会って遊べないなど、当たり前にあつた日常生活がなくなつた子どもたちの様子、「3密」そのものと言われる舞台公演ができなくなった芸術家の方々、この間どのような思いで過ごされてきたのか、パフオーマーや先生、行政関係者などからお聞きしました。あきらめず前を向き、次の時代を考えていく姿勢に希望がありました。



今できる可能な形で面白さを伝えたい！ 一般社団法人落語協会 伊藤 輝

6月に入り、関東でも少しずつ街に人が戻り、失われた日常を取り戻そうと歩みだしたところです。人と会えない、外出できないことで、人が心豊かに、心穏やかに生きるのに生活文化、芸術文化が大きな役割を担っていたことに改めて気づかされました。大人ですらこのように感じるのであれば、創造力や感性などを大きく育てる時期の子どもたちにとって、多くの機会が失われたことは大変残念とともにとっても心配です。

今後は、以前のような形に戻すことを考えるよりも、今できる可能な形の中で、少しでも子どもたちに文化芸術に触れる機会を作っていくことを考えるべきだと思っております。当協会から芸術家派遣事業で、毎年のように千葉の子どもたちに接してきた落語家から、子どもたちへのメッセージです。

柳亭市弥さんより：「楽しいイベントが中止になり、寂しいこと続きですが、落語の面白さを伝えに行きますので、笑顔でまた会いましょう」

分断の危機

前進座 俳優 早瀬栄之丞

舞台芸術というのはいまでもなく、同じ空間に人が集まりある特別な時間を共有するものです。人々が触れ合い交流する場なのです。ウイルスへの対策として人々との接触を避け距離をおくのはやむを得ないとしても、危惧されるのはそれが精神的にも距離をおくことになり他者との交流を避ける、その結果「分断」に繋がりはしないか、ということです。既にその兆候は出始めているようにも感じます。分断は悲劇を生みます。

早く学校で友達と会いたい・遊びたい、と言っている子どもたちをニュースで見てホッとしました。今回の出来事が共に生きる喜びを感じる機会になれば…、そして再び人々が劇場に戻って来ることを切に願います。

心震えるようなライブを届けたい！

オールスタッフ/イツツフォーリーズ 代表・プロデューサー 土屋友紀子

長い歴史の中で、日本の文化・舞台芸術を守り続けてきたのは、国ではなく私たち生きている市民だったと、このパンデミックな出来事を通じて初めて全国的に示されたのではないのでしょうか。遮断されたライブ・アートがどれだけ人間に必要なものか、心が求めているのを感じます。大人たちが不安を抱える環境下の中で、子どもたちはそれをキャッチし、ひたすら自我を失わず生き延びてきましたが、この期間に子どもたちに与える見えないストレスはきっとどこかで障害となるかもしれません。だからこそ、早く子どもたちに心震えるようなライブ・アートを届けなければならなりません。もちろん大人にも。ウイルスは人間の中にある細胞であるからこそ、共存できるような社会を、生活をみんなで一緒に学びたいと思っています。

★永野むつみさん（エッセイ）
「命優先」この言葉に逆らう人はそういない。長期戦を覚悟で「命優先」の言葉を今、吟味しよう。三密が手段であり中身のあり、存在価値でもある私たちの仕事。全部切り捨てられた時代はない。この事実が「希望」です。

劇団 パフォーマー

上演が全国で不可能になり一大事 でも前向きに楽観的に 長期戦を覚悟で 一日でも早く 子どもたちを★大人を ライブ・アートで笑顔にしたい！

★チカパン（パントマイム）
上演が全国で不可能になり恐怖でした。とにかく一大事！慌てましたね。みんなも苦しんでいる中、頑張っていることが励みです。子どもたちが人生を豊かに生き抜くためには心を豊かにする文化芸術は重要です。今後は規制された条件の中でアイディアを絞り表現を模索していくことになりました。パントで人を笑顔にしたい！

★BBモフラン（パークッション）
子どもたちが stay home の期間中、我慢して頑張ったから学校がクラスターとなりませんでした。頑張った分、芸術を通して楽しみ、心身を解放する喜びを感じてほしいです。知性と情緒、動と静、様々な要素が円満に満たされることで人間の健全な成長につながると思います。芸術の出来ることの可能性を信じて子どもたちに伝えていきたいです。

★ブッチィー（クラウン）
突然だったけど、この際だからこれまで絶対にやらなかったことをしようという前向きに楽観的に考えました。演劇ワークを勉強したりね。新しいことを始めるいい機会でしたよ。子どもたちは大人より現実を受け入れ、対応できていると信じている。でも世界中の子どもたちには暇だ！ 僕たちは早くやりたくてウズウズしています。

学校

楽しいこと、心を開く芸術との出会いを、まず先に子どもたちに届けたい！

千葉市立朝日ヶ丘小学校

先が見通せない大変な時期ですが、昨年度の落語もよかったし、わたしたちも子どもたちに教科書では得られない楽しさ、生の物を届けたいという思いがまず先にありました。全校対象の芸術鑑賞会などは難しい状況が続いていますが、学年活動ならいろいろ工夫しながらでもできるかと思っています。楽しみにしています！

旭市内の小学校

分散登校の形をとっていましたが今は通常に戻りました。子どもたちはちょっと緊張している様子でした。みんなマスクをしていますあまり大騒ぎしない方がいいと思っています。去年は芸術家派遣事業でパントマイムをしました。その時感じた子どもの笑顔と、心開き感性を高め、学びに向かう力を養う舞台芸術との出会いを、また機会があったらやってみたいです。

大多喜町立大多喜小学校

登校日に全校児童にアンケートとった。長期化する家庭生活で問題が予測される「睡眠時間」「食事回数」などについて。学校再開後の身体測定では、学年平均体重で10キロ増が出た、確実に運動不足によるもの。外遊びではマスクをつけ、2Mあけること、密にならない遊びの種類の検討、給食時等、絶えず感染リスク避けることにとりくんでいる。授業時数確保が難しいが、昨年について芸術家派遣事業を検討したい。

NPO

鑑賞活動は延期しても必ずやる！ 存亡の危機から救ったのは地域の人々！

心を潤す文化芸術の持つ魔法の力への希望と 街を元気にしようとする市民

千葉中央おやこ劇場

実施できない現実を受け止め、鑑賞は延期しても必ずどこかでやる！と決心しました。会議や部会には必要に迫られてオンラインでやっています。みんなで何とかできるんですよ。時間があつたので総会資料や会員手帳の見直しなど丁寧にじっくり取り組めたのは良かったです。運営側は動いているぞ！とアピールしています。社会の動きに合わせて活動し始めていきます。

子どもプラザ成田

今年も心躍る作品を準備し公募に備えてきた成田市の小中学生対象舞台鑑賞「青少年劇場」が新型コロナの影響で中止。教育現場は感染拡大防止、授業数確保等で苦勞し、子どもたちは先の見えない不安や新しい生活様式への戸惑いの中にいる。その緊張した心を潤すのは文化。文化芸術の持つ魔法の力が発揮されるのは“今”なのだ伝えていきたい。

いちかわ市民文化ネットワーク

「チャレンジド・ミュージカル」他、大切にしてきたほぼ全ての活動が中止という存亡の危機。会員たちが「いちぶんネットを援けてください！」キャンペーン、WEBでのイベント等発信し、大きな反響を得ました。「いちぶんネットは市民のエネルギーと、つながりの上にある。面白い活動は人を街を元気にする！」を再認識。再開の時に向け、今はしっかり準備してこうと、障がい児・者家族のストレス解消につながればと「家族サロン」を始めました。

行政

■某市子育て支援課

コロナ禍の3か月間は、親子が密着することが多く、虐待とかが起こりやすい状況にあるため、訪問したり電話等で連絡をとって声をかけたりこまめに対応しました。子育て支援施設は6月1日から午前中2時間だけ開設が始まり登録している数組の親子が来ています。保育士とおしゃべりをしてほほえましい姿を見ます。施設での事業の開始はまだ先になりそうです。

■横芝光町

外出が出来ない日々が続く、親子で家で孤立して過ごしていたようです。お母さんたちはいっぱいいっぱいでしたね。そんな中で子どもたちの生活リズムを壊さないようにと毎日のスケジュールを立てて頑張るお母さんもいました。子ども劇場さんからの提案事業で、10月に人形劇を町の子育て支援として取り組みます。楽しく笑顔になってほしいです！



声をかけ 孤立しがちなお母さんたちを支援

■某市小学校

学校再開のすすめ方は、まず子どもたちの不安、ストレス、辛さに寄り添いゆっくり丁寧にスタートすることを最優先で考えることです。そのことが十分されてはじめて「学校がはじまってよかった」という思いになり、勉強やいろいろなことを前向きに頑張ろうという気持ちになってきます。ところが、コロナ対応をすすめながら、授業時間の確保を最優先ですすめている現状があります。高学年は7時間授業が週3日・6時間授業が週2日、1年生もいきなり6時間授業。これでは学校嫌い、学習嫌いを生み出し、不登校の子どもたちが増えることにつながるのでは？と危惧しています。休み時間は10分に短縮、外遊びはできません。給食は一切無言。全員前を向いて食べます。夏休みは10日間です。学校の休校は子どもたちのせいではありません。子どもたちがかわいそうです。

■某児童養護施設

6月から学校が始まりました。外出はできなかったものの、3か月間、子どもたちは外でボールであそんだり、勉強をしたり、グループであそんだり、問題なく過ごしました。夏休みは縮小されるようですが、今回のパフォーマンスを届けてくれる活動を楽しみにしています。

学校が始まりました。夏休みが大幅短縮



「コロナだけど、みんなに会いたいな～」
「アッ！こんなやりかたもあったか！」

■■■■ いろいろなアイデア 活動のか・た・ち ■■■■

■ 小学生オンラインであつまれ！

(特) 市川子ども文化ステーション行徳地区
5月17・30日 参加者：9人 ZOOM ミーティング

手遊び、ジャンケン大会、変顔大会、お宝探しゲーム、私は誰でしょうゲーム等を行いました。

大きなぬいぐるみを持って登場する子、チャットを巧みに使える子、短い時間の中でも、子ども同士の交流を行うことができました。「久しぶりに遊べた気がして楽しかった」「久しぶりに会えて楽しかった」と感想をもらいました。ネットを使って遊べるとは思っていなかったのですが、やってみて良かったです。 安田佐知子

■ 「絵しりとり&Web そーらん」やったよ！

(特) NPO 佐倉こどもステーション
4月末、5月13・27日 参加者：27人 LINE/ ZOOM ミーティン

4月末から0才～年齢順に「絵しりとりで遊ぼう」が会員専用ブログで始まり、子どもたちの絵と笑顔が繋がっています。遊びは小学4年生の女の子から出されたなぞなどで、問題と答えを事前にきちんと画用紙に書いてくれ、参加者全員が難しい問題に頭をひねる楽しい時間を過ごしました。

5/13・27にはZoomでそーらん練習。「久しぶり～！」と声を掛け合って、子どもたちの間違い探しやジェスチャークイズでウォームアップ。逆立ち披露があったり、おうちで繋がるそーらん練習でした。 (遠藤裕子)

■ オンラインげきじょう子まつり「ZOOMでまつりモ！」

(特) 流山おやこ劇場
5月6・24日、6月14日 参加者52人 ZOOM ミーティング

「劇場という場で子どもたちと繋がっている私たちに、今何ができるか」を青年同士で話し合い、「オンラインげきじょう子まつり～まつりモ」が、誕生！

顔なじみ同士の交流は盛り上がり、2回も開催。そして、北崎圭太氏(アフタフ・バーバン関西)とも共同イベント開催!! 「もの探し」「本物は誰だ!」「ジェスチャーゲーム」で遊びました。

これらの活動を通して、たとえ画面上でも、遊びを通じた交流は心の栄養となり、今を前向きに生きる力となることを実感しました。 (吉田侑世)

■ 「ただじゅんさんとあそびの会」

(特) 市川子ども文化ステーション北地区
5月3日 参加者：22人 ZOOM ミーティング

表現あそびの達人・ただじゅんこと多田純也さんをゲストに迎え、大人21人・子ども22人でZoomイベントを行いました。

手あそび・顔あそび・折り紙に獅子舞まで！盛りだくさんであつという間の1時間でした。参加者から、工夫がすごい、みんなの顔が見えてよかった、ほっとした、いっぱい笑ってストレス解消になったなどの声をいただき、在宅中の息抜きとしても必要なイベントだと感じられました。 (三ツ森菜央子)

■ 初挑戦もりだくさんの2か月だったね！

(特) 千葉中央おやこ劇場
5月19・30日 参加者：25人 LINE 音声通話

中高生以上、LINEグループによるリモートゲーム開催。

- ①5月19日、水平思考クイズゲーム(16名) 説明をよく聞き、推理をしていくことが楽しかった。
- ②5月30日、人狼ゲーム(8名) 会話なし、書き込むだけなので大人・中学生は追いつけず、慣れた高校生に一同びっくり。またやってみたい！

③4月手遊び歌の動画作成。HPにアップ。制作は子育て支援部、編集は中1男子 <http://ccoyako.pupu.jp>

(大塚るい)

■ 「第21回子どもキャンプ実行委員会」

(特) 子どもプラザ成田
5月10・17日 参加者：5人(中2～高2) LINE 音声通話

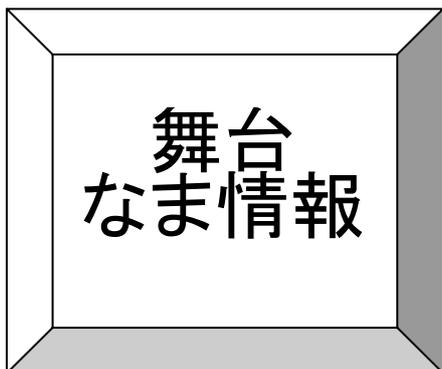
第21回子どもキャンプ(8/16～19 3泊4日)に取り組む子どもたちは、「キャンプ場の下見は難しいので、実行委員全員が行ったことのあるキャンプ場にしよう!」「パーキングでのお土産時間を無くし、トイレ休憩のみにしよう!」など、どうすればキャンプを安全に行えるかを一生懸命考えていました。

急に中止になる事も理解しながら、アイデアを出し合う姿に、私たち大人も、子どもたちに今届けられる事をあきらめずにいっぱい考えるべきだと教えられました。

(高橋知子)

編集後記: 梅雨空のなか、ランドセルにカバーをかけた、いかにも1年生らしい子どもたちが傘をさして一生懸命歩いています。「がんばって!」ではなくて「やっと学校に行けるね。今日楽しいことがあるといいね!」と声をかけたいと思います。きっと送り出す保護者、迎える先生も同じではないでしょうか。「子どもの学び、遊び、育つ権利」のために働く私たち、アーティストの方たち、行政の方たちは皆、今すぐみんなに出会うことはできなくてもウォーミングアップを止めることはありません。笑顔に会える日を楽しみに知恵を出したいと思います。





- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・ 役員の下見は5名まで無料
 - ・ その子どもは1人1,000円
 - ・ その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第94号別冊 <2020年8月～11月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団なんじゃもんじゃ	ベッカニコおに	9/5	18:30	千葉市民会館小ホール	千葉北中央	高学年
◇ CAN青芸	ゴッコマンのだいじなもの	9/20	17:15	成田中央公民館	成田	小学生～大人
◇ 芝居屋杜川リントロウ	一人で演じる走れメロス	9/27	18:00	ブラッツ習志野市民ホール	ならしの	小学生～大人
◇ アフタフ・バーバン	ぐうちよっぱっ劇場	10/25	午後予定	袖ヶ浦市根形公民館(予定)	袖ヶ浦	0～5歳の親子
◇ 劇団仲間	給食番長	11/3	13:30	千葉県教育会館ホール	千葉中央北	幼児～小3

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ひぼぼたあむ	ふたりのお話	9/27	11:00	わろうびんぐホール	四街道	幼児
☆ 劇団かかし座	わくわく影絵たんけん隊	10/18	15:00	船橋市内公民館	船橋	幼児～大人
☆ 人形劇団望の社	Shadow Kingdom 影の王国	10/18	17:00	四街道市文化センター3F	四街道	幼児～大人
☆ 人形劇団京芸	火よう日のごちそうはひきがえる	11/23	2st 予定	J.COM浦安音楽ホールハーモニーホール	浦安	4歳～大人

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ マリンバ・カンパニー	はねるマレット うたうマリンバ	10/4	未定	もりんぴあこうづ	成田	小学生～大人
♪ 石川寛子・川瀬由紀子	0.1.2歳児親子のためのクラシックコンサート	11/1	10:30	八千代台文化センター	八千代	乳幼児親子
♪ 石川早苗、児玉カルテット	JAZZ LIVE	11/3	18:00	八千代市市民会館	八千代	小学生～大人
♪ X-jam	シモシュとあそぼ！音であそぼ！	11/28	11:00	四街道公民館ホール	四街道	幼児

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ ラストラダカンパニー	サーカスの灯	9/6	18:30	ブラッツ習志野市民ホール	ならしの船橋	幼児～大人
◎ TEAMパフォーマンスラボ	World Yo-Yo Entertainment!!	9/13	13:30	千葉市内小学校体育館	千葉中央北	幼児～小3
◎ マーガレット一家	たっちゃん紙芝居+(プラス)	10/4	14:00	未定	ならしの	幼児～小3
◎ パントマイムプラネット	チカパンのいっしょにパントTIME！	10/25	未定	佐倉草ぶえの丘	佐倉	幼児～小3

きらきらわくわく情報

2020年8月～11月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ 子ども一ぶの絵本箱 わっくぶっく	8/5,9/2.16,10/7.21,11/4.18	子ども一ぶ袖ヶ浦事務所	袖ヶ浦	乳幼児の活動
▪ 乳幼児(0～2)とお母さんのほっとスペース はっぴいスペース	8/6.20,9/3.17,10/1.15,11/5.19	千葉北事務所	千葉北	
▪ 乳幼児おやこサークルぴよんぴよんキッズ	8/27,9月2回,10月2回	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 乳幼児(1歳半～3)おやこふれあいあそびアクティブキッズ	8/27,9/10.13.24,10/8.29,11/3.12.26	千葉北事務所&公園	千葉北	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	8/30,9/10,10/8,11/12	袖ヶ浦市神納コミュニティセンター他	袖ヶ浦	
▪ 絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1歳～)	9/1.10/6,11/10	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ おやこサークル クレヨンクラブ	9/8.29,10/13.27,11/10.24	行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば(0歳～)	9/10,10/8,11/12	市川市鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央	
▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1歳～)	9/11.25,10/9.23,11/13.27	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ 幼児から低学年の親子の集まり いっぽの会	9/15,10/13,11/17	流山市民活動推進センター	流山	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ やきいも	10/25	習志野市香澄公園	ならしの	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ クリスマス会	11/29	未定	ならしの	
▪ 子育て応援 ぶらんこルーム	月2回予定	流山市中央公民館ひだまりルーム	流山	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	未定	白井市内公園他	白井	
▪ 子育て広場 はっばのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ 乳幼児のおやこリズム体操	未定	未定	千葉中央	
▪ こどもキャンプ	8/8～10	君津市清和県民の森	四街道	高学年の活動
▪ 高学年キャンプ	8/14～16	東京都奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳	
▪ 第21回子どもキャンプ	8/16～19	東京都境溪谷キャンプ場	成田	
▪ 第34回子どもキャンプ	8月中旬	未定	流山	
▪ 劇団風の子おーちゃんと遊ぼう まいごのこねこちゃん	8/29	千葉市文化センター第2リハーサル室	千葉中央	講演会・学習会 ワークショップ
▪ 杉山春さん 子どもの今 子どもの命を守るには	10/31	船橋市内公民館	千葉県センター	
▪ 磯邊聡さん 子どもの心に寄り添う 向きあい方…	11/9	千葉市民会館	千葉県センター	
▪ 親子で一緒に劇遊び～参加型親子体験ワークショップ	11/15	成田市もりんぴあこうず	成田	
▪ 北崎圭太さん講演会 ネット・ゲームのホントの問題	11/28	市川市勤労福祉センター大会議室(予定)	市川中央	
▪ 表現遊びワークショップこちらおかしなへんでこりん小学校	11/29	流山市内公民館等	流山	

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	▪ 親子キャンプ	8/7～9	東京都奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
	▪ 遊んで、食べて、感じるわくわくキャンプ	8/9～11	東京都奥多摩中茶屋キャンプ場	市川中央
	▪ 夏祭り	8/18	白井市内公園	白井
	▪ デイキャンプ	8/22	浦安市今川少年の広場	浦安
	▪ 一日プレーパーク わんぱく広場	8/23	市川市東海面公園	市川行徳
	▪ 月例自然遊び体験 わくわく実験	8/23	Wakabalはらっぱ	Wakaba
	▪ みんなあつまれ！夕涼み会	8/29	行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ 事務所オープンデー	9/13,10/11,11/8	子どもプラザ成田事務所	成田
	▪ 月例自然遊び体験 光るどろだんご	9/27	Wakabalはらっぱ	Wakaba
	▪ ハロウィーン	10/25	白井市内公園他	白井
	▪ ガキ大将の森であそぼう	10/25	八千代市ガキ大将の森キャンプ場	八千代
	▪ 月例自然遊び体験 ウォークラリー	10/25	Wakabalはらっぱ	Wakaba
	▪ ハロウィンであそぼの会 流山バザール	10/31	流山市内公民館等	流山
	▪ みんなあつまれ！運動会	11/3	行徳公民館	市川行徳
	▪ 秋のデイキャンプ	11/4	佐倉草ぶえの丘	千葉中央
	▪ 子どもがつくる子どものまち ならしのこまち	11/8	谷津奏の杜公園(予定)	ならしの
	▪ 子どもの創造表現フェスティバル	11/8	八千代市市民会館	八千代
	▪ 秋のデイキャンプ	11/15	未定	白井
	▪ 月例自然遊び体験 五平餅づくり	11/15	Wakabalはらっぱ	Wakaba
	▪ 親子で楽しむ季節の行事 お正月ってなあに	11/23	八千代市ガキ大将の森キャンプ場	八千代
▪ 炉体験	11/28	習志野市香澄公園	ならしの	

子どもと文化 イベント情報

◆ こどもキャンプ

8月8日(土)～10日(月)
 場所：君津市清和県民の森
 対象：小学4年生～高校生
 参加費：12,700円
 主催/(特)四街道こどもネットワーク
 Tel.043-423-5381

◆ 低学年高学年合同キャンプ

～遊んで食べて感じるわくわくキャンプ～
 子ども実行委員の企画、沢登りやマスカみ、
 野外炊事、大きな家族のようにすごします。
 8月9日(日)～11日(火)
 場所：奥多摩中茶屋キャンプ場
 対象：幼児親子、小学生親子、中学生、青年、大人
 参加費：幼児(4～6歳)8,000円、小中高生9,000円、大人18,000円(予定)
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ 一日プレーパーク

「わんぱく広場」
 ～自分の責任で自由に遊ぶ～
 今回は感染防止対策の見地から
 遊び内容を考えて実施します。
 8月23日(日)10:00～15:00
 場所：東海面公園
 対象：全年齢
 参加費：無料
 共催/(特)市川子どもの外遊びの会・
 市川市南行徳自治会
 主催/(特)市川子ども文化ステーション行徳地区
 Tel.047-395-7670

◆ 乳幼児親子のための「ぐうちよっぱ

劇場～あおむしくんのぼうけん～
 アフタフ・バーバンのあそびの劇場
 0・1・2歳が出会う初めての舞台、
 親子で楽しめることまちがいなし。
 10月25日(日) 午後予定
 場所：袖ヶ浦市根形公民館(予定)
 対象：0～5歳の親子
 参加費：大人1,000円子ども500円
 主催/子どもるーぷ袖ヶ浦
 Tel.0438-63-2850

◆ 子どもがつくる子どものまち 「ならしのこまち」

子どもだけが住民になれるまち。
 このまちでしか使えない通貨。
 出店したりアルバイトしたり自由に遊べます。
 11月8日(日)10:30～15:00
 (雨天順延 11月15日)
 場所：谷津奏の杜公園(予定)
 対象：幼児～小学生
 参加費：幼児300円、小学生600円
 主催/(特)ならしの子ども劇場
 Tel.047-451-3676

◆ JAZZ LIVE

ジャズボーカリスト石川早苗さんと児玉カルテット
 八千代市文化・スポーツ振興財団共催事業
 11月3日(火祝)18:00開演
 場所：八千代市市民会館大ホール
 対象：小学生以上
 参加費：3,000円、当日3,500円、
 団体2,500円
 主催/(特)子どもネット八千代047-486-4699

◆ 舞台劇鑑賞会

前進座「ひとごころし」
 11月21日(土)①14:00 ②18:30
 場所：全日警ホール(市川市八幡市民会館)
 対象：小学4年生～大人
 参加費：子ども(小4～高校生)1,500円、
 大人2,800円、障がい者1,500円
 主催/市川でよい芝居をみる会
 共催/(特)市川子ども文化ステーション
 Tel.047-339-7744
 またはkita@kodomobst.org

◆ 人形劇鑑賞会 「火よう日のごちそうはひきがえる」

人形劇団京芸
 11月23日(月祝)時間未定
 場所：J.COM浦安音楽ホール
 対象：4歳～大人
 参加費：ひとり2,800円、親子ペア券5,000円
 当日はひとり券のみ3,000円
 主催/浦安子ども劇場
 E-mail:urayasu.kodomo.g215@gmail.com

◆ 表現遊びワークショップ

「こちらおかしなへんてこりん小学校」
 劇団風の子大森靖枝さんワークショップ
 アートDEであう・つながる・ひろがる事業
 11月29日(日)時間未定
 場所：流山市内公民館等
 対象：幼児から小学生の親子20組
 参加費：未定
 主催/(特)流山おやこ劇場
 Tel.04-7152-0446

◆ 北崎圭太さん講演会

「ネット・ゲームのホントの問題」
 11月28日(土)①15:00 ②18:00(予定)
 場所：未定
 対象：①大人 ②中高生
 参加費：①大人500円 ②子ども300円
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ 表現遊びワークショップ

アフタフ・バーバン「ゆかいなおかしなシアターうん・どうかい」
 ～かかわりあうことを楽しもう～
 11月29日(日)13:20～15:20
 場所：市川市勤労福祉センター
 対象：幼児～大人
 参加費：幼児親子1組1,000円
 小学生以上ひとり1,000円
 主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
 Tel.047-332-3024

◆ チャイルドライン千葉

受け手ボランティア養成講座募集!
 10/31※、11/9※、21.28、12/10、
 1/14.28、2/18.25、3月、4月
 場所：千葉市、船橋市方面
 定員：15名
 参加費：全12回12,000円
公開講座
 ※「子どもの今～子どもの命を守るには～」杉山春さん
 10月31日(土)14:00～16:00
 場所：船橋市内公民館
 ※「子どもの心に寄り添う向きあい方・ロールプレイ」
 磯邊聡さん
 11月9日(月)13:00～15:30
 場所：千葉市民会館
 公開講座のみの参加は各回資料代1,500円
 主催/(特)子ども劇場千葉県センター
 Tel.043-301-7262

やっとなんやっとなん鑑賞会を開催することができました～!!

「三枚のおふだ」

人形劇団ぱびるべ劇場

日にち/2020年6月21日(日) 参加人数/57人

場所/富里北部コミュニティーセンター大ホール

主催/(特)子どもプラザ成田

安心して参加できるように感染防止対策を行って上演しました。参加者は家族ごとに距離をとってピクニックシートに座って観ました!

コロナ禍でも生の舞台を子どもたちに届けたい! その気持ちが壁を乗り越えるパワーになりました!!

～(特)子どもプラザ成田広報紙『わくわくにゆうす』No.275より～

※(特)は特定非営利活動法人を略しています。

※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは各主催団体をお願いします。

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 沓山おやこ劇場	04-7152-0446	● みはま舞台芸術を楽しむ会～子どもから大人まで～	080-1138-1635
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-250-4120
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-377-8490
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● 清安子ども劇場	080-6651-9175	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	● ゆちまたおやこ劇場	043-442-0064
● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子どもるーぷ繪ヶ浦	0438-63-2850
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● NPO法人 NPO佐倉こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉県子ども核会	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		